



「練習を楽しんでくれることが一番」と石塚さん

## 週4日、子どもたちにサッカー指導

石塚 悠介さん

(いしづか・ゆうすけ)

サッカークラブに入った。中学、高校ではサッカー部に所属し、中学時代にはキャプテンを務めた。「思春期だからその意見のぶつかり合いもあって、チームをまとめるのに苦労した。その経験が今に生かされているかも」と振り返る。

石塚さんが19歳のとき、小学生時代に所属していたクラブの練習に参加したことがきっかけで、当時指導を受けていたコーチに誘われて子どもたちを指導することに。以来、平日に2日と土曜、日曜の週4回、サッカーを教えている。

「子どもたちの吸収力はすごい。子どもが成長する瞬間を見ることが一番のやりがいだ」と話すのは、鈴木化学工業所(本社愛知県幸田町)の石塚悠介さん(27)。豊田スタジアムの近くで幼少期を過ごし、父親に連れられてサッカーの試合を見に行ったりすることがきっかけでサッカーに熱中した。現在は、地元の小・中学生らが所属するチームでサッカーを教えている。石塚さんがサッカーを始めたのは、小学3年生。生で見た試合の迫力に魅了され、地元のサ

所課 工業上 工場 幸田 鈴木 化学 工業 幸田

サラリーマン

# 百景

～わが社の腕まくり～

指導の際には「良いことも悪いこともすぐに吸収するので、良いプレーはしっかりと褒め、直すべきところは優しく教えるように心掛けています。子どもはとも素直で学ぶことも多い」といい、言葉だけでなく体を動かしながら指導する。「子どもの良さを見つけて、一人一人に寄り添って指導できるコーチになりたい」とサッカーの素晴らしさを子どもたちに伝え続けている。